

別表 海洋プラスチックごみ対策に係る普及啓発動画作成業務 審査基準

- 1 審査項目及び各項目の配点は次のとおりとし、各選定委員（5名）が採点する。
- 2 企画提案者の中でプロポーザル選定委員の評価の合計点が最も高い者を契約候補者として選定する。
- 3 2の場合において、合計点の最も高い提案書が複数あった場合は、見積書の金額が最も安価な者を契約の相手方の候補者として選定する。なお、金額も同額の場合は、当該者は、当初提案の金額の範囲内で見積書を再作成し、再提出された見積書の金額が最も安価な者を契約の相手方の候補者として選定する。
- 4 各選定委員による評価の合計点が6割未満の場合は、当該企画提案書を契約候補者として選定しない。企画提案者が1者の場合も同様とする。

(130点満点)

区分		評価項目		配点
1	企画提案力	(1)	県民に分かりやすく、効果的に伝わる内容となっているか。 ・対象年齢に分かりやすい表現となっているか。 ・海洋プラスチックごみ問題の概要と栃木県の関わり、生き物との関わりについて分かりやすい内容となっているか。 ・県民の行動につながる具体的な取組やプラスチックと上手に付き合うことの大切さが盛り込まれているか。 ・動画のストーリーが分かりやすい構成となっているか。	55
		(2)	県民が興味を持って視聴する内容となっているか。	25
		(3)	他の提案者にはない独自の発想や工夫はあるか。	10
2	業務遂行力	(4)	実施体制、実施スケジュールが業務を安定的に遂行できるものであるか。企画提案者は、本業務の遂行に当たり、十分な実績を有しているか。	20
		(5)	実施体制、実施スケジュールが業務を安定的に遂行できるものであるか。	15
		(6)	業務内容に見合った適切な経費であるか。	5
合計				130

(選定委員)

選定委員は、次の5名とする。

所属	職名	備考
環境森林部廃棄物対策課	課長 笹川 正憲	委員長
環境森林部廃棄物対策課	班長 福土 宏樹	
環境森林部廃棄物対策課	総括 大橋 禎恵	
環境森林部廃棄物対策課企画推進担当	GL 加藤 道夫	
環境森林部廃棄物対策課廃棄物担当	GL 高木 時美	

